

2018年度派遣（3月2日～3月31日）

カナダ トリニティウエスタン大学

経営学部1年 田坂 勇樹

この語学研修での目標は2つありました。1つ目はそこでしか体験できないようなことを体験することで、2つ目は英語力の向上でした。英語をもっと話せるようになりたいけれども苦手意識が強かったため、その苦手意識を無くしたいと思っていました。

私の目標はそのほとんどが達成できたと考えています。1つ目の目標はホームステイをすることによって多くの体験ができました。私のホストファミリーはクリスチャンで、毎食、食事前の祈りを捧げていました。また、1度だけ教会に礼拝に行くことができました。それは初めての体験で分からないことばかりでした。他にもホストファザーがバンクーバーを案内してくれ、そこでの暮らしの良い所も、悪い所も説明してくれて様々な事を知ることができました。2つ目の目標についてはある程度達成したかと思います。海外での生活は基本英語です。研修大学の英語クラス、ホームステイなどを通して英語を話す場面が多く、また英語の聴き取りも必要だったので、特にリスニング力は向上したように思います。でも、これからもっと向上していけるように勉強を続けていきたいと思っています。

また、ホームステイをすることによって実際のカナダの暮らしを経験することができました。その生活の中では、日本とは違う言語はもちろん、習慣や食文化といったカルチャーショックを受けることもありましたが、それを拒絶するのではなく、受け入れることが大切だと学びました。またコミュニケーションの大切さを学びました。私の英語力は高くないので、1ヶ月の生活の中で理解できないことも多々ありました。けれども、ホストファミリーや先生、クラスメイト達はこちらがしっかりと理解できるまで待ってくれ、わからないことがあれば説明してくれました。そして私の拙い英語を理解しようとしてくれました。そのため私も頑張って話そうと努力しました。その中で少しずつ自信を持つことができ、会話ができるようになりました。これからTOEICなどの試験にチャレンジし、英語力とコミュニケーション力を身に付けて、実践的に使えるようになりたいです。



環境学部2年 森 美沙

この語学研修を通して、自分の意見を皆に言うことの難しさを感じました。間違っていたらどうしよう、共感の声が無かったらどうしようと考えてしまって授業中も発言しないまま最初は過ごしていました。そんな自分とは対照的にクラスメイトの皆は自分の意見をはっきり言って、分からなかったらその場で分からないと主張している姿が見れました。皆で分からない部分を解消して英語に向き合う姿や、ご飯一緒に食べようと誘ってくれるクラスメイトが、私に授業中発言する勇気をくれました。周りの環境が自分にどれだけ影響を与え、周りの人の一言が自分の一日をどれだけ左右するきっかけになるか知ることができました。英語をもう少しでも話せればと踏み出した語学研修は、自分がいかに奥手であることを確認することができ、奥手な自分と葛藤して、一歩踏み出して自分の意見を言えるようになりました。この語学研修によって、自分の発言が授業の流れを支えるものであること、自分の行動、他人の行動がお互いに大きく影響することを学ぶことができました。

